

新規受託項目

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。
謹白

記

項目名

● ROMA (卵巢悪性腫瘍推定値) (依頼コード No.13066)

受託開始日 2017年9月1日(金) 受付分より

CA125 (依頼コードNo.00836) と HE4 (依頼コードNo.13065) の2項目と同時に
ご依頼ください。

卵巢癌は女性生殖器悪性腫瘍の中で最も死亡数の多い疾患とされています。

2017年8月より受託を開始しましたヒト精巣上体蛋白4 (human epididymis protein 4: HE4) は、
精巣上体遠位の上皮細胞で特定されますが、呼吸器上皮や生殖組織を含む正常細胞及び卵巢癌組織
での発現が報告されており、血中HE4濃度は卵巢悪性腫瘍で高値を示し、ステージ進行に伴い値が
上昇します。

HE4はCA125との相関性が低く、婦人科良性疾患や妊娠などでは値が上昇しないことから、
CA125とHE4を組み合わせることで卵巢悪性腫瘍と卵巢良性腫瘍を鑑別する診断性能向上が期待
されます。

今回ご案内いたします卵巢悪性腫瘍推定値 (Risk of Ovarian Malignancy Algorithm: ROMA) は、
CA125とHE4の結果値から算出され、感度の高いCA125と特異性の高いHE4の特徴を踏まえて、
上皮性卵巢悪性腫瘍の推定に有用とされており。

裏面に続きます

受託要領

依頼（報告） コード No.	13066(親) ROMA(卵巣悪性腫瘍推定値) ----- (子) 21539 ROMA値閉経前 (子) 21540 ROMA値閉経後
所要日数	2~6
検査方法	計算項目
基準値	ROMA値閉経前：7.4未満 ROMA値閉経後：25.3未満
単位	%
報告範囲	0.0~100.0
報告桁数	小数第1位

ご依頼時の注意点

- ROMAは、CA125(依頼コードNo.00836)とHE4(依頼コードNo.13065)の2項目と同時依頼の場合のみ結果報告いたします。
- 閉経前後で計算式・基準値に違いがあるため、閉経前後の子コードを設定して両方に結果値をご報告いたします。

【参考文献】

Moore, RG et al.: Gynecol Oncol 112, 40-46, 2009.
Fujiwara, H. et al.: Tumor Biol 36, 1045-1053, 2015.
木村英三: 産婦人科の実際 64, 1055-1061, 2015.